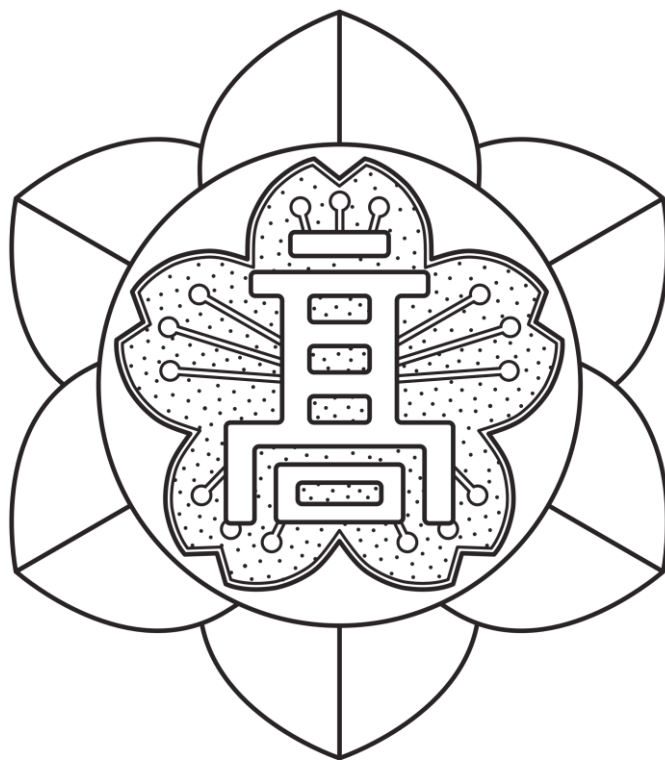


令和6年度  
第4学年用シラバス



静岡県立清水東高等学校

定時制の課程

教科	科目	単位数	履修学年
国語	国語表現（旧課程）	2	4年

使用教科書	副教材等
国語表現 改訂版（大修館書店）	なし

科目の目標
国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

評価の観点と評価規準		評価方法
① 知識・技能	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。	・テスト ・ワークシートの内容
② 思考・判断・表現	A 話すこと・聞くこと 目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。 B 書くこと 相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	・テスト ・ワークシートの内容 ・発表の内容 ・課題への取り組み
③ 主体的に学習に取り組む態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	・取り組みの観察 ・ワークシートの内容 ・自己評価・相互評価

学習計画							
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの評価規準	評価の観点			
				①	②		③
					A	B	○
4	書いて伝える	整った文を書く わかりやすい文を書く 文のつなぎ方	より正確に、わかりやすく伝えるためにどのようなことに気をつけたらよいか、書き方の基本を身につけている。	○	○	◎	○
5	小論文・レポート入門	小論文とは何か 反論を想定して書く 発想を広げて書く (生活体験文と対応)	自分の意見を理由・根拠にもとづいて論理的に書き、読み手を納得させられる説得力のある文章の書き方を身につけている。	○	○	◎	○
6	メディアを駆使する	通信文と書き分ける (お礼状事前指導と対応)	形式に沿ったお礼状を作成することができる。	○	○	◎	○
7	自己PRと面接	自分を見つめて 効果的な自己PR 将来の自分を考えよう 志望動機をまとめよう	自分の過去や現在を見つめ、そして将来に向かって歩みを進めるために、「自分」を的確に他者にアピールする力を身につけている。	○	◎	◎	○
9							
10		面接にチャレンジ					

11	メディアを駆 使用する	電話を使いこなす ネット社会とコミュニケーション メディアと情報	さまざまなメディアの特性を知り、使い こなすことができる。	○	◎	○	○
12							
1	声とコミュニ ケーション	言葉のストレッチ ショートスピーチをしよう	表情や身振りなど声以外の要素にも着目 しながら、声で伝える力とコミュニケー ション力を高めている。	○	◎	○	○
2	会話・議論・発 表	相手や場面に応じた会話 建設的な議論の進め方 プレゼンテーションの工夫	目的に合った話し方を身につけ、効果的 な表現方法を工夫している。また、身に つけた力を自分の生活に生かしている。	○	◎	○	○

教科	科目	単位数	履修学年
公民	政治経済（旧課程）	2	4年

使用教科書	副教材等
最新政治・経済新訂版（実教出版）	なし

<p>科目の目標</p> <p>広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育成する。</p>
--

評価の観点と評価規準		評価方法
① 知識・技能	・選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	・テスト ・プリントの内容 ・発表の内容 ・課題への取り組み
② 思考・判断・表現	・現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	・テスト ・プリントの内容 ・発表の内容 ・課題への取り組み
③ 主体的に学習に取り組む態度	・国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業への取り組み ・プリントの内容 ・発表の内容 ・課題への取り組み ・自己評価

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの評価規準	評価の観点		
				①	②	③
4	第1編 現代の政治	第1章 現代国家と民主政治	・民主政治の発展過程や基本原理について基本的な知識が身についている。 ・社会契約説や「法の支配」など民主主義の基本原理の意義について考察している。	○	○	
5		第2章 日本国憲法と基本的人権	・日本国憲法が規定する基本的人権の内容を理解するとともに、実社会との関わりについて理解している。 ・大日本帝国憲法と日本国憲法の共通点や相違点について比較しながら多面的・多角的に考察している。		○	○

6		第3章 日本の政治制度と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の政治機構に関する基本原則について理解している。</li> <li>日本における立法・行政・司法の動向からその課題を多面的・多角的に考察している。</li> <li>政党政治や選挙制度、政治参加などについて基本的な知識を身につけている。</li> <li>選挙制度や一票の格差、投票率の低下など政治参加の課題について、多面的・多角的に考察し、あるべき政治参加について自分の考えを表現している。</li> </ul>	○	○	○
7		第4章 現代の国際政治	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際機構や国際法が構築された経緯を理解し、その仕組みや課題についての知識を習得している。</li> <li>国際社会における様々な課題について多面的・多角的に考察している。</li> </ul>		○	○
9	第2編 現代の経済	第1章 現代の経済社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>資本主義経済の理論と特徴についての基本的な知識を身につけている。</li> <li>社会の変容に伴う資本主義経済の変容について多面的・多角的に考察し、基本的な動向について適切に表現している。</li> </ul>	○	○	
10			<ul style="list-style-type: none"> <li>市場メカニズムがもつ効率的な資源配分の仕組みや、金融、財政の基本的な役割について理解している。</li> <li>日本の金融や財政の課題について多面的・多角的に考察し、適切に表現している。</li> </ul>		○	○
11		第2章 現代の日本経済と福祉の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦後日本経済の発展過程についての基本的な知識を身につけ、変化がどのような背景から生まれたか理解している。</li> </ul>	○		○
12			<ul style="list-style-type: none"> <li>日本経済が抱える様々な課題について、その現状や背景、望ましい解決策の方向性などについて十分な知識を身につけている。</li> <li>日本経済が抱える様々な課題について多面的・多角的に考察している。</li> </ul>		○	○
1		第3章 現代の国際経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>貿易や国際収支の仕組みについて基本的な知識を身につけ、赤字や黒字の意味するところを理解している。</li> <li>グローバル化のメリットと課題・問題点について整理し、適切に表現している。</li> </ul>	○	○	
2	第3編 現代社会の諸課題	<b>①</b> 地域社会の変貌と住民生活 <b>②</b> 産業構造の変化と中小企業 <b>③</b> 農業と食料問題 <b>④</b> 雇用と労働をめぐる運動 <b>⑤</b> 少子高齢社会と社会保障	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の日本社会が抱える諸課題について多面的・多角的に考察し、課題解決の方法について立場の違いを踏まえながら公正に判断し、適切に表現している。</li> </ul>	○	○	○
		<b>⑥</b> 地球環境問題 <b>⑦</b> 地球環境と資源・エネルギー問題 <b>⑧</b> 人種・民族問題 <b>⑨</b> 経済格差の是正と国際協力 <b>⑩</b> 国際社会における日本の立場と役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の国際社会が抱える諸課題について多面的・多角的に考察し、課題解決の方法について立場の違いを踏まえながら公正に判断し、適切に表現している。</li> </ul>	○	○	○

教科	科目	単位数	履修学年
保健体育	体育（旧課程）	2	4年

使用教科書	副教材等
最新高等保健体育（大修館）	なし

<p>科目の目標</p> <p>運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康、安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフの継続する資質や能力を育てる。</p>
---

評価の観点と評価規準		評価方法
① 知識・技能	<p>選択した運動の技術の名称や、行い方、体力の高め方、課題の解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。</p> <p>運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。</p>	<p>授業への取り組み</p> <p>プリント・ノート</p> <p>実技・テスト等</p> <p>グループ活動</p>
② 思考・判断・表現	<p>生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。</p>	<p>授業への取り組み</p> <p>プリント・ノート</p> <p>グループ活動</p>
③ 主体的に学習に取り組む態度	<p>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>授業への取り組み</p> <p>プリント・ノート</p> <p>実技・テスト等</p> <p>グループ活動</p>

学習計画						
月	単元名	学習内容・活動等	単元や題材など内容のまとめりごとの評価規準	評価の観点		
				①	②	③
4	体づくり運動	体ほぐしの運動 （集団行動、体ほぐしの運動 新体力テストに向けた 補強運動）	定期的な運動の継続は、心身の健康や体力の保持増進につながる意義があることを理解している。	○		
			様々な運動を行うことを通して、自身の体について気付いたり、仲間と関わりあったりしている。		○	
			集団行動や体ほぐし運動を自主的に取り組むとともに、健康・安全を確保し活動している。			○
	体育理論	スポーツ文化（社会体育論）・ トレーニング理論	主体的に取り組んでいる。 トレーニングにおける安全について理解している。	○		○

	陸上競技	短距離走・長距離走・投げる・跳ぶ（体力測定）	自己能力に応じた目標記録や課題を定めている。（記録の向上）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
			練習、試合の企画や運営の仕方について理解し、主体的に行動している。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
5	球技	サッカー ソフトボール バレーボール バスケットボール ハンドボール	球技において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントについて、理解している。	<input type="radio"/>		
			自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて自己の考えたことを他者に伝えることができる。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6		卓球 バドミントン （から1種目選択）	練習、試合の企画や運営の仕方について理解し、健康・安全に気を配りながら、主体的に行動している。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
7	体づくり運動	体力を高める運動 体ほぐしの運動	定期的な運動の継続は、心身の健康や体力の保持増進につながる意義があることを理解できる。	<input type="radio"/>		
			様々な運動を行うことを通して、自身の体について気付いたり、仲間と関わりあったりしている。		<input type="radio"/>	
			集団行動や体ほぐし運動を自主的に取り組むとともに、健康・安全を確保し活動している。			<input type="radio"/>
	陸上競技	短距離走・長距離走・投げる・跳ぶ（体力測定）	自己能力に応じた目標記録や課題を定めている。（記録の向上）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
			練習、試合の企画や運営の仕方について理解し、主体的に行動している。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
9	体育理論	生涯スポーツ概論	主体的に取り組んでいる。 生涯スポーツについて理解している。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
10	球技	サッカー ソフトボール バレーボール	球技において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントについて、理解している。	<input type="radio"/>		
			自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて自己の考えたことを他者に伝えることができる。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11		バスケットボール ハンドボール			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12		卓球				
1		バドミントン	練習、試合の企画や運営の仕方について理解し、健康・安全に気を配りながら、主体的に行動している。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
2		（から1種目選択）				

教科	科目	単位数	履修学年
家庭	子どもの発達と保育	2	4年

使用教科書	副教材等
子どもの発達と保育 新訂版 (実教出版)	なし

科目の目標
子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

評価の観点と評価規準		評価方法
① 知識・技能	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を理解しているとともに、子どもの発達に特性や発達過程に対応した技能を身に付けている。	定期テスト、ワークシート、実験・実習レポート、作品
② 思考・判断・表現	子どもを産み育てることや、家族の役割・地域の子育て支援などについて課題を見だし、思考を深め、適切に判断し表現する能力を身に付けている。	定期テスト、ワークシート、実験・実習レポート
③ 主体的に学習に取り組む態度	子どもの発達や子育て支援について関心を持ち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身に付けている。	ワークシート・レポートへの取組状況、授業への取組状況

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの評価規準	評価の観点		
				①	②	③
4	子どもの発達の特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達と乳幼児期の意義</li> <li>発達と保育環境</li> <li>児童観と発達観</li> </ul>	発達の概念や児童観・発達観の変遷について理解している。	○		
			乳児期の心身の発達における環境について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。		○	
			子どもの発達特性について自ら学び、保育に主体的にかつ協働的に取り組む態度を身に付けている。			○
5 6 7	子どもの発達過程	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの発育</li> <li>子どもの精神発達</li> <li>人間関係の発達</li> </ul>	生涯発達における乳幼児期について、基本的な発達の特性と心身の様々な機能の発達の特性を発達時期ごとの子どもの姿を通して理解している。	○		
			乳幼児期の子供の健全な心身の発達について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。		○	
			子どもの発達について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。			○
9 10	子どもの生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活と養護</li> <li>子どもの遊び</li> <li>生活習慣の形成</li> <li>健康管理と事故防止</li> </ul>	子どもの生活と養護について理解し、適切な生活習慣の形成や健康と安全管理に関する保育の技術を身に付けている。	○		
			子どもの生活と適切な養護について、課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。		○	
			子どもの生活と養護について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。			○
	子どもの保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育の意義と重要性</li> </ul>	保育の意義と方法について理解している。	○		



11 12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭保育と集団保育</li> <li>・保育の方法</li> </ul>	子どもの心身の状態や発達に応じた保育の方法について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。		○	
			子どもの保育の方法について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。			○
1 2	子どもの福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの福祉</li> <li>・子育て支援</li> </ul>	児童福祉の理念と制度について理解している。	○		
			子どもの福祉について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。		○	
			子どもの福祉について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。			○

教科	科目	単位数	履修学年
職業	職業一般	2	3年3修、4年

使用教科書	副教材等
ガイダンス+SPI・一般常識(実教教育出版)	なし

<p>科目の目標</p> <p>働くことの意義、職業人として求められる一般的・基本的事項を実践的に学ぶ中で、現代社会における職業について理解を深める。自己分析など進路を考える活動を通して、社会に主体的に参画していく職業人としての資質と能力を養う。</p>
---

評価の観点と評価規準		評価方法
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会における職業についての基本的問題と職業人としての在り方生き方にかかわる事柄や学び方を理解し、その知識を身に付けている。</li> <li>・現代社会における職業についての諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・プリント・ノート</li> <li>・発表の内容</li> <li>・図表の読み取り</li> </ul>
② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことにかかわる事柄から課題を見だし、働くことを通して社会とかかわる人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえながら、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・プリント・ノート</li> <li>・発表の内容</li> <li>・図表の読み取り</li> </ul>
③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの意義や職業人として求められる事柄について関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会に主体的に参画していく職業人としての在り方生き方について自覚を深めようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み</li> <li>・プリント・ノート</li> <li>・授業内容に取り組む姿勢</li> <li>・発表の内容</li> </ul>

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの評価規準	評価の観点		
				①	②	③
4	オリエンテーション 基礎学力向上 自己分析	・一般常識・漢字・計算・作文 ・将来の目標、性格の把握	・漢字や計算など、基本的な知識を身に付けている。 ・自分の過去の経験や言動を振り返り、自らの性格を知るとともに、将来の目標を設定している。	○	○	
5	基礎学力向上 自己分析 面接	・一般常識・漢字・計算・作文 ・自分の関心 ・自分の価値観 ・自分のこれまでの活動 ・面接マナー(所作・言葉遣い)	・漢字や計算など、基本的な知識を身に付けている。 ・自分の過去の経験や言動を振り返り、自らの性格を知るとともに、将来の目標を設定している。 ・面接の際に身に付けておく必要がある所作や言葉遣いを使用している。	○	○	○
6	履歴書の作成 基礎学力の向上 面接	・志望理由の明確化 ・一般常識・漢字・計算・作文 ・面接マナー(所作・言葉遣い) ※国語表現と連携を図る。	・自己分析や将来への展望を基に志望理由を書けるようになる。 ・漢字や計算など、基本的な知識を身に付けている。 ・面接の際に身に付けておく必要がある所作や言葉遣いを使用している。	○	○	○
7	就職活動の実際	・求人票の見方 ・職場見学について ・御礼状について	・求人票の見方を理解している。 ・御礼状の書き方について理解している。	○		○
9	履歴書の作成 基礎学力の向上 面接	・志望理由の明確化 ・一般常識・漢字・計算・作文 ・面接マナー(所作・言葉遣い)	・自己分析や将来への展望を基に志望理由を書けるようになる。 ・漢字や計算など、基本的な知識を身に付けている。 ・面接の際に身に付けておく必要がある所作や言葉遣いを使用している。	○	○	○
10	基礎学力の向上 面接	・一般常識・漢字・計算・作文 ・面接マナー(所作・言葉遣い)	・漢字や計算など、基本的な知識を身に付けている。 ・面接の際に身に付けておく必要がある所作や言葉遣いを使用している。	○	○	
11	基礎学力の向上 働く自分を守る	・一般常識・漢字・計算・作文 ・労働法規について	・漢字や計算など、基本的な知識を身に付けている。 ・労働法規の意義などを理解している。	○	○	
12	基礎学力の向上 働く自分を守る	・一般常識・漢字・計算・作文 ・労働法規について	・漢字や計算など、基本的な知識を身に付けている。 ・労働法規の意義などを理解している。	○	○	
1	基礎学力の向上 社会人としての常識	・一般常識・漢字・計算・作文 ・契約	・漢字や計算など、基本的な知識を身に付けている。 ・「契約とは何か」、「契約の際に発生するトラブル」などを理解している。	○	○	○
2	基礎学力の向上 社会人としての常識	・一般常識・漢字・計算・作文 ・住宅	・漢字や計算など、基本的な知識を身に付けている。 ・住宅を建てるための資産形成や建てる上での注意点などを理解している。	○	○	○



教科	科目	単位数	履修学年
理科	地学基礎（旧課程）	2	4年

使用教科書	副教材等
地学基礎 新訂版（実教出版）	なし

<p>科目の目標</p> <p>日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p>
---

評価の観点と評価規準		評価方法
① 知識・技能	地球や地球を取り巻く環境についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技術を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・プリントの内容</li> <li>・課題への取り組み</li> </ul>
② 思考・判断・表現	地球や地球を取り巻く環境から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・プリント、レポートの内容</li> <li>・発表の内容</li> <li>・課題への取り組み</li> </ul>
③ 主体的に学習に取り組む態度	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みの観察</li> <li>・プリント、レポートの内容</li> <li>・発表の内容</li> <li>・自己評価、相互評価</li> </ul>

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの評価規準	評価の観点		
				①	②	③
4		序章 宇宙・地球・人間				
5	惑星としての地球	1章 地球の構成と運動				
		1節 地球の形と大きさ	地球の形の特徴と大きさについて理解している。	○	○	
6	活動する地球	2節 地球内部の構造	地球内部の層構造とその状態を理解している。	○	○	○
		3節 プレート運動	プレートの分布と運動及びプレート運動に伴う大地形の形成について理解している。	○	○	
7	移り変わる地球	4節 火山活動と地震	火山活動と地震の発生の仕組みについて理解している。	○	○	○
		2章 地球の変遷				
		1節 地層と化石	地層が形成される仕組みと地質構造について理解している。	○	○	
		2節 古生物の変遷と地球環境	古生物の変遷と地球環境の変化について理解している。	○	○	○

月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの 評価規準	評価の観点		
				①	②	③
9	大気と海洋	3章 大気と海洋 1節 大気と運動	大気と地球全体の熱収支について理解している。	○	○	
10		2節 大気の大循環 3節 海洋の構造と海水の運動	大気の大循環と海水の運動及びそれらによる地球規模の熱の輸送について理解している。	○	○	○
11		4節 日本の四季と気象と気候				
12		宇宙の構成	4章 太陽系と宇宙 1節 太陽系の中の地球 2節 太陽とその進化 3節 宇宙のすがた	太陽系の誕生と生命を生み出す条件を備えた地球の特徴を理解している。 太陽の表面の現象と太陽のエネルギー源及び恒星としての太陽の進化を理解している。 宇宙の誕生と銀河の分布について理解している。	○ ○ ○	○ ○ ○
1	地球の環境	5章 地球の環境 1節 日本の自然環境	日本の自然環境を理解し、その恩恵や災害など自然環境と人間生活とのかかわりについて考察することができる。	○	○	
2		2節 地球環境の科学	地球環境の変化を科学的に考察することができる。	○	○	○

# 外国語科 年間指導計画

教科	科目	単位数	履修学年
外国語	英語表現 I	2	4年

使用教科書	副教材等
NEW FAVORITE English Expression I (東京書籍)	なし

科目の目標
外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。

評価の観点とその評価規準	
知識・技能	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
思考・判断・表現	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。

学習と評価の計画													
時期	単元	単元の目標				主な領域において何ができるようになるのか	総括のための観点別学習状況の評価の記録					評価場面	評価方法
		主な領域		CE FR	L		R	I	P	W			
		CAN-DO ID	領域 NO								記号		
4	1, 2				A1	日常的话题 (自己紹介/家族紹介) について、聞いたり読んだりしたことを基に、自分の考えを理由とともに話して伝えあうやりとりを続けることができる。	知思態	知思態	知思態			授・定・他	PT/PFT
5	3, 4				A1	日常的话题 (将来の夢/進学希望大学について知る) について、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書くことができる。	知思態	知思態			知思態	授・定・他	PT/PFT
6, 7	5, 6				A1	日常的话题 (所属する部活/礼状を書く) について、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書くことができる。	知思態	知思態			知思態	授・定・他	PT/PFT
9	7, 8				A1	日常的话题 (花火/フリーマーケット) について、聞いたり読んだりしたことを基に、自分の考えを理由とともに話して伝えあうやりとりを続けることができる。	知思態	知思態	知思態			授・定・他	PT/PFT
10	9, 10				A1	社会的な話題 (郷土の有名なもの/日本文化 (七夕) について、自分の考えを聞いたり読んだりしたことを基に、自分の考えを理由とともに話して伝えることができる。	知思態	知思態			知思態	授・定・他	PT/PFT
11 12	11 12				A1	社会的な話題 (英語のニュースのお月見/日本文化のマンガとアニメ) について、聞いたり読んだりしたことを基に、意見を論理性に注意して話して伝えあうことができる。	知思態	知思態	知思態			授・定・他	PT/PFT
1	13 14				A1	社会的な話題 (禁煙/映画「独裁者」) について、聞いたり読んだりしたことを基に、意見を論理性に注意して話して伝えあうことができる。	知思態	知思態	知思態			授・定・他	PT/PFT
2	15 16				A1	社会的な話題 (文化である言語/食事マナー) について、聞いたり読んだりしたことを基に、意見を論理性に注意して話して伝えあうことができる。	知思態	知思態			知思態	授・定・他	PT/PFT

※評価場面：授（授業内）、定（定期テスト等）、他（課題内容等）

※評価資料：PT（ペーパーテスト等）、PFT（パフォーマンステスト）、PT/PFT（ペーパーテスト等及びパフォーマンステスト）

備考欄

教科	科目	単位数	履修学年
情報	社会と情報	2	4年

使用教科書	副教材等
最新 社会と情報 新訂版 (実教出版)	なし

<p>科目の目標</p> <p>情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。</p> <p>(1) 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための技術と知識を身に付け、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解し、効果的にコミュニケーションを行う。</p> <p>(2) 情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現する。</p> <p>(3) 情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画する。</p>
--

評価の観点と評価規準		評価方法
① 知識・技能	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための技術と知識を身に付け、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解し、効果的にコミュニケーションを行っている。	テストおよび、実習課題等
② 思考・判断・表現	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現している。	テストおよび、実習課題等
③ 主体的に学習に取り組む態度	情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画しようとしている。	授業への取り組み、テスト、実習課題等

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの評価規準	評価の観点		
				①	②	③
4	序編 情報とメディア	1 情報と通信技術の発達	古代からの技術的な進歩を概観し、コミュニケーション手段の発達について理解している。	○		○
		2 情報の特徴				
		3 インターネットでの情報検索	さまざまな場面で使われる「メディア」という言葉をキーワードに、情報の特徴とメディアの意味について理解している。	○		○
5		4 メディアとは				



6 7	第1編 情報社会と 情報モラル	1 情報社会の問題点	情報社会の問題点を踏まえ、情報セキュリティの重要性を認識するとともに、情報セキュリティを高めるため、暗号、コンピュータウイルス、サイバー攻撃などさまざまな具体例を学び、コンピュータのセキュリティ対策の方法を習得している。	○	○	○
		2 情報セキュリティの確保				
		3 情報社会における法と個人の責任				
9 10 11 12	第2編 デジタル情報と情報の活用	1 アナログとデジタル	情報のデジタル化の基礎的な知識である、アナログとデジタルのちがいとそれぞれの特徴を理解している。	○		○
		2 コンピューターのしくみ	情報をデジタル化し処理する上で基礎となるコンピュータの基本的なしくみを理解している。	○		○
		3 情報のデジタル表現	情報のデジタル化の基礎的な知識と技術である、ビットの概念、2進数による表現、文字、音、画像、動画のデジタル化の原理と表現方法を理解している。	○	○	
		4 情報の表現と伝達	情報伝達メディアの性質を知り、情報をわかりやすく表現し効率的に伝達するために、適切な情報機器やメディアを選択し利用する方法を習得している。	○	○	
1 2	第3編 情報通信ネットワーク	1 コミュニケーションの手段の発達	情報社会の課題について、主体的に解決を図るために必要な基礎的な知識と技能を習得している。	○		○
		2 インターネットのしくみ	情報通信ネットワークの特性を踏まえ、サーチエンジンの特徴と活用方法を理解し、インターネット上で情報検索を行う技能を身に付けている。	○		○
		3 インターネットの活用				

教科	科目	単位数	履修学年
国語	現代文A	2	4年

使用教科書	副教材等
高等学校 改訂版 新編現代文A (第一学習社)	なし

科目の目標
近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

評価の観点と評価規準		評価方法
① 知識・技能	言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。	・テスト ・ワークシートの内容
② 思考・判断・表現	(読むこと) 目的に応じて、まとまりのある近代以降の文章を読み、自分の考えを深め、発展させている。	・テスト ・ワークシートの内容 ・発表の内容 ・課題への取り組み
③ 主体的に学習に取り組む態度	文章を読む楽しさを味わい読書に親しむとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	・取り組みの観察 ・ワークシートの内容 ・自己評価・相互評価

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの評価規準	評価の観点		
				①	②	③
4 5	評論	なぜ‘コロンブスの卵’を描くのか	・文章の要旨を的確に読み取っている。 ・人間や社会、自然などについて視野を広げ、自分なりに考える態度を養っている。	○	○	○
6	小説	デューク	・場面展開を的確に読み取っている。 ・小説における比喩的表現の工夫を理解している。	○	○	○
7 9	評論	新しい地球観	・各段落の要点を理解している。 ・文章を読んで、現代社会について自分の考えを深めている。	○	○	○
10	小説	ナイン	・語彙を豊かにし、自分の表現に役立っている。 ・人物の描写を的確に捉えている。	○	○	○
10 11 12	評論	花女房 コミュニケーションの文化	・抽象的な表現を含む文章を的確に読むことができる。 ・文章を読んで、社会について自分の考えを発展させたり、自然について自分の考えを深めたりしている。 ・筆者の考えをもとに、自分の考えを文章にまとめることができる。	○	○	○
1	詩	汚れちまった悲しみに… 永訣の朝	・表現上の特色を捉えている。 ・文体や修辞を自分の表現に役立っている。	○	○	○
2	小説	ひよこの眼	・登場人物の心情を自分の言葉で表現している。 ・文章を読んで自分の生き方を見つめ直している。	○	○	○
	評論	経験の教えについて 支え合うことの意味	・文章の構成、展開を的確にとらえ、論理性を評価している。	○	○	○

			<ul style="list-style-type: none"><li>・文章を読んで批評することを通して、社会や文化について自分の考えを深めたり、発展させたりしている。</li></ul>			
--	--	--	---	--	--	--

教科	科目	単位数	履修学年
理科	化学基礎（旧課程）	2	4年

使用教科書	副教材等
改訂 新編化学基礎（東京書籍）	なし

<p>科目の目標</p> <p>日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p>
--

評価の観点と評価規準		評価方法
① 知識・技能	物質とその変化についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技術を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・プリントの内容</li> <li>・課題への取り組み</li> </ul>
② 思考・判断・表現	物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・プリント、レポートの内容</li> <li>・発表の内容</li> <li>・課題への取り組み</li> </ul>
③ 主体的に学習に取り組む態度	物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みの観察</li> <li>・プリント、レポートの内容</li> <li>・発表の内容</li> <li>・自己評価、相互評価</li> </ul>

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの評価規準	評価の観点		
				①	②	③
4	化学と人間生活とのかかわり	序編 化学と人間生活	日常生活や社会を支える物質の利用とその製造の例を通して、化学に対する興味・関心を高めることができる。	○		○
			日常生活や社会において物質が適切に使用されている例を通して、化学が果たしている役割を理解している。	○		
5	物質の探究	1編 物質の構造 1章 物質の生物と構成元素 1節 物質の成分	単体、化合物及び混合物について理解している。	○		
			実験における基本操作と物質を探究する方法を身に付けている。	○	○	○
			2節 物質の三態	粒子の熱運動と温度及び物質の三態変化との関係について理解している。	○	○

月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの 評価規準	評価の観点		
				①	②	③
6	物質の構成粒子	2章 原子の構造と元素の周期表 1節 原子の構造 2節 電子配置と周期表	原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解している。	○	○	
			元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解している。	○	○	○
7	物質と化学結合	3章 化学結合 1節 イオンとイオン結合 2節 分子と共有結合 3節 金属と金属結合 4節 化学結合と物質の分類	イオンの生成を電子配置と関連付けて理解している。	○	○	
			共有結合を電子配置と関連付けて理解している。	○	○	
			金属結合及び金属の性質を理解している。	○	○	
			イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解している。	○	○	
			分子からなる物質の性質を理解している。	○	○	○
9 10 11	物質と化学反応式	2編 物質の変化 1章 物質と化学反応式 1節 原子量・分子量・式量 2節 物質量 3節 溶液の濃度 4節 化学反応式とその量的関係	物質と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解している。	○	○	○
			化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解している。	○	○	○
12 1 2	化学反応	2章 酸と塩基 1節 酸と塩基 2節 水素イオン濃度と pH 3節 中和反応と塩 4節 中和滴定	酸と塩基の性質及び、中和反応に関与する物質の量的関係を理解している。	○	○	○
		3章 酸化還元反応 1節 酸化と還元 2節 酸化剤と還元剤 3節 金属の酸化還元反応 4節 酸化還元反応の応用	酸化と還元が電子の授受によることを理解している。 酸化還元反応と日常生活や社会とのかかわりについて理解している。	○	○	○